

事務事業名		関東地区博物館協会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館
	政策	2	生涯にわたり学びのあるまちづくり				担当係			担当課長名	山口明良
	施策	2	歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	地域の歴史・文化の理解の促進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14846	一般	10	4	4	関東地区博物館協会参画事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S58年度～ 年度		根拠法令 条例等	博物館法 佐野市立博物館条例					
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
						事業分類		参画事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
関東地区博物館協会の会員として、負担金を支出している。また団体主催の会議・研究会等に参加し、機関誌や報告書等を収集することで、博物館活動・動向に関する情報の収集や交換を行っている。 ※関東地区博物館協会とは、会員相互の連絡を図り、博物館事業の振興を目的として、茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉の5県にある博物館及び同施設86館から構成されている団体である。					(市の活動) 関東地区博物館協会に負担金(7千円)を支出する。団体の発行する機関誌を収集する。 (団体の活動) 総会・研究会・講演会を開催し、機関誌『関東の博物館』を刊行する。また、平成18年から共同企画展事業を展開している。						
					活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					機関誌収集数	部	1	1	1		
					会議・研究会参加数	回	0	0	1		
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
郷土博物館職員 (参画対象団体) 関東地区博物館協会					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					対象職員数	人	4	4	4		
目的											
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
①館の運営について、他館の状況や活動・動向に関する情報の収集・交換の機会・手段を得る。					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
②教育普及活動及び展示等に関する技術の向上を図る。					参画で情報を集められた対象職員 の割合	%	100	100	100		
					参画に意義を認める対象職員 の割合	%	100	100	100		
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
地域の歴史と伝統を知ってもらい、郷土への愛着を育んでもらう。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					佐野市の歴史と伝統を知っている市民の割合	%	91.6	93.1	93.5	94.0	94.5

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	7	7	7					
	事業費計(A)	千円	7	7	7	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	7	負担金	7	負担金	7		
	人件費	人	2	2	2					
のべ業務時間	時間	10	10	10						
人件費計(B)	千円	39	39	39	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	46	46	46	0	0				

事務事業名	関東地区博物館協会参画事業	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館	担当係	
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	郷土博物館の開設準備中に、他館の活動状況や最新情報を収集し、館の運営に活用するために団体に入会したことから開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	指定管理者制度や独立行政法人制度が導入可能となり、博物館の運営形態が多様化している。また、国や地方公共団体の緊縮財政により、博物館や美術館等の弱体化が進み、苦しい運営環境に苦慮している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	情報交換の場や機会を利用し、他の博物館との相互連携や事業協力を通じて、博物館の資料調査・研究等の振興を図ることで、住民の教育・文化水準の向上につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	博物館・美術館経営等の芸術文化事業は、収益性を追求する企業理念にそぐわない。博物館活動の振興は自治体の担うべき事業で、他館との相互連携を図る手段として必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	機関誌や報告書等を購読することで、他館の活動状況や最新情報を収集できる。講演会・研究会等参加することで、調査研究や特別展示の着想や歴史・文化資料の調査・研究等の支援が期待できる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	講演会や研究会は、遠隔地での開催や日程的に参加が難しい場合が多い。また、緊縮財政の下、職員配置や予算要求が抑制されているので、十分な活動ができない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	郷土博物館が加盟する団体の負担金の他に事業費がないので、事業費を削減する余地はない。また、人件費についても、同様である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	団体の加盟館は、団体が主催する研修会や視察研修に参加する機会を平等に受けられるため、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	加盟団体から脱退すれば事業は終了となるが、団体に加盟することで、他館の状況や活動・動向に関する情報の収集・交換の機会・手段を得ることが可能となり、当館の運営に役立つので、休止も廃止も出来ない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					